

生命に関する倫理委員会 議事録

日時 令和2年9月28日（月） 17:00～17:50
場所 大学本館3階 第3会議室
出席 中島、山本、鷹野、井田、益守、北村、堀江、渡邊、三好
陪席 麻生、藤木（産学官連携推進室）

【審議事項】（3件）

1. 研究番号 444

標題 舌扁平上皮癌におけるLaminin-Rの発現とその作用についての検討
申請者 病理学講座 教授 矢野 博久
説明者 病理学講座 講師 小笠原 幸子、大学院生 松尾 勝久
審議に先立ち、申請内容につき説明者に概要説明を求めた。概要説明を踏まえ、審議の結果、承認された。

2. 研究番号 445

標題 消化器癌のプレシジョン治療を可能にする分子標的関連遺伝子データベースの構築に関する研究
申請者 外科学講座 講師 主藤 朝也
説明者 外科学講座 講師 主藤 朝也
審議に先立ち、申請内容につき説明者に概要説明を求めた。概要説明を踏まえ、審議の結果、承認された。

〔修正後承認〕

1. 計画書について

「12. 研究対象者の同意（インフォームド・コンセント）の方法」において、本研究の対象者に含まれない“18歳未満”の記載を外すこと。

2. 同意書について

同意取得時に、研究対象者と遺伝情報の二次的所見に関する伝達希望有無を確認するための項目を設けること。

3. 生命に関する倫理委員会 申請書（様式1）の改訂について

審議に先立ち、事務部から今回の申請書（様式1）の改訂に至った経緯の説明が行われ、別紙の改定案を提示の上、審議の結果、承認された。

〔修正後承認〕

1. 「8. 研究対象者」の【対象者】欄において、“患者群（患者及び血縁者）”の項目に、学内者・学外者の別が分かるようにチェック欄を設けること。

【報告事項】（1件）

① 迅速審査報告

事務部から、別紙に基づき、迅速審査の報告が行われた。

【備考】

委員から、今年2月の委員会時に検討を行った中央一括審査の導入に関する進捗の確認があり、事務部から、昨今の状況もあり、他大学への情報収集が当初予定より遅れている旨の報告がなされた。その上で、委員から事務部へ、早ければ来年度から導入を行うことを見据え、医に関する倫理委員会とも足並みを揃える必要もあり、かつ、中央一括審査の導入は世の中の情勢であることも踏まえ、早めの対応を要請された。